

一般財団法人 水・地域イノベーション財団助成事業  
中間報告

都市部貧困層コミュニティにおける水・衛生設備  
管理能力の向上

日本水循環文化研究協会

# プロジェクトの全体の流れ

## Activity I

都市貧困層コミュニティにおいて、衛生設備が管理されない要因を明らかにするための調査

## Activity II

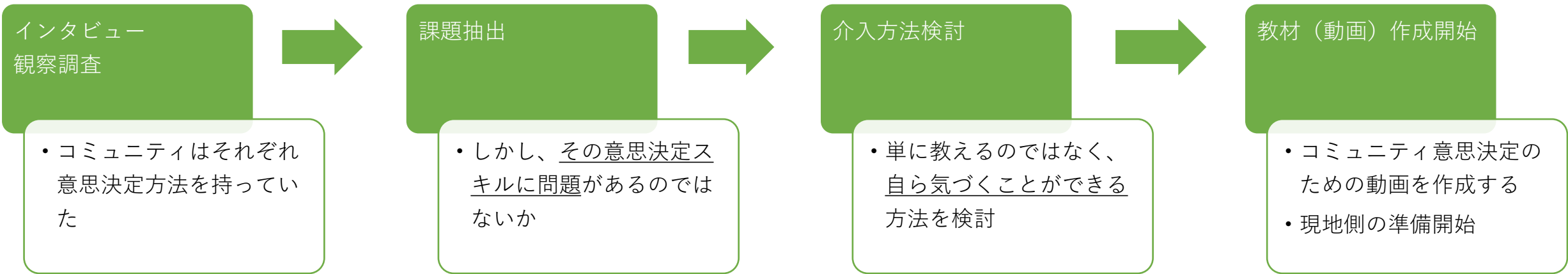
各コミュニティの状況に応じた、自立的、持続的管理体制の検討  
外部サポート体制（地方政府や修理業者など）の検討

## Activity III

自立的管理システムの試験的实施および評価

# 活動状況【Activity I & II】

リモート会議・現地訪問を通して得られたコミュニティの状況、介入プログラムの可能性



## 明らかになった課題

- ✓ 人々の抱く思い込みがある—“外部者（主にNGOなどの支援者）が主導のミーティングで決める方法がミーティングである”
- ✓ 自分たちが主体になって様々な意見を出し合い、折り合いをつけたり、何度も話し合いを行ってよりよい決定をしていく、というプロセスを経験したことがない

⇒もしこのプロセスを疑似体験できれば、何か気づきがあるかもしれない？

# バングラデシュ・クルナ市訪問（2023年7月）

## 関連機関、NGOとの会談



### 【訪問機関】

UNDP：本会への協力に快諾、KCC（本会活動地であるクルナ市政府）との仲介などご配慮いただいたことで、KCCからの合意を得ることができました [写真左、資料②]

NGO・NOBOLOK：貧困層を対象に水・衛生に関する支援活動を行っている団体であり、本会の活動について意見交換を行い、有益なフィードバックをいただきました [写真右]

# 腐敗槽汚泥処理施設見学（クルナ市Rajbandh地区）



クルナ市西部に位置し、市内の汚泥や廃棄物処理を担っている設備であり、訪問時は2台のバキュームカー（Vacutug）が処理場にあるConstructed Wetland Systemへ汚泥を流し入れる作業をみることができました

# 対象コミュニティ訪問

コミュニティリーダー女性たち（左）、一般の人々へのインタビュー（右）



なぜ壊れたままなのか、と直接聞くのではなく、様々な情報を得ながら人々の生活の実際を理解することから原因分析につなげるインタビューです

写真左の男性はスタッフHadi

# コミュニティの設備の状況

機能している設備（写真左）、設備が取り払われてしまっているトイレ（同右）



問題なく使われている設備（左写真、手洗い設備）もありましたが、多くは使われないまま時間が経っており、中には高価なものであるという理由からモーターが取り外され、個人の家に保管されているケースもありました

# コミュニティによる意思決定

- 人々へのインタビューからは「井戸が故障すると話し合いで集金金額が決まる」など、ミーティングを開催している発言がみられたことから、スタッフに、実際のミーティング場면을観察してもらうことにしました
- しかし、実際には招待されたスタッフが司会をしていました
- コミュニティの人々だけでなく、スタッフでさえも、“ミーティング＝外部者が司会進行するもの”という意識が強いということがわかってきました
- 人々には自分たちで意思決定していくスキルが不足しているのではないか、そういったスキルは、誰かに教えてもらうやり方ではなく、自分たちで気づき、やってみようという意識によって得られるのではないか、という仮説がうまれました





# 教材としての動画制作

(現地でのミーティング：2023/11/9)

- 課題「コミュニティの意思決定スキルアップ」に対して、特にリーダーグループが日常行うミーティングに焦点をあて、自分たちはどのようなミーティングを行っているのか、どのようなミーティングが望ましいか、などの気づきを得られるような「コミュニティ内のミーティング場面」の動画制作を計画しました
- クルナ市で社会活動に従事する女性5名、NGO代表男性1名が自主的に演者として参加してもらえらることになり、初顔合わせをし、動画制作について打ち合わせを行いました



# 現地側ミーティング（動画制作班）



- 現地で動画制作を行うチームを結成し、練習や撮影計画などがすすめられています
- 制作班統括は本会元スタッフAzad [写真左、左から2番目]

# 今後の予定

## 【Activity III：自立的な管理システムの基盤となる介入～動画完成および上映】

1. クルナ市訪問①（2024年1月末～2月を予定）
  - ✓動画制作班打ち合わせ、リハーサル見学
  - ✓コミュニティリーダー主体によるワークショップ打合せ
2. クルナ市訪問②（時期未定）
  - ✓コミュニティ住民を対象とした動画上映会およびワークショップ

## 【活動終了後】

### 2024年度地球環境基金助成要望申請 [資料③]

本活動を通して明らかになったコミュニティでの意思決定の現状を打開しなければ、自立的な衛生管理は難しい。問題発見ならびに施設改善を選択する段階からコミュニティの人々の積極的参画を促し、当事者意識を醸成する。